

企画部会 (平成20年度第1回)

議事録

2008年4月8日(火)開催

時間	15:00 - 17:30		場所	地盤工学会地下会議室	
安田副会長		土田部長		眞野理事	
安藤部員		宇良部員	×	小宮部員	×
高橋部員		谷部員		堀越部員	×
李部員	×				
事務局:戸塚		工藤里絵	オブザーバー		

:出席 ×:欠席 :未定

(配布資料)

- ・ 企画部会(平成19年度第5回)議事録案 [別紙-1]pp.1-2
- ・ 公益法人改革資料 [別添資料-1]
- ・ 男女共同参画学協会連絡会議事録案 [別紙-2]pp.3-6
- ・ 中長期ビジョンによる理事会体制案 [別紙-4]pp.7-9
- ・ 60周年記念事業担当部署案 [別紙-5]pp.10
- ・ 委員会レビューシート提出状況 [別紙-6]pp.11-12
- ・ 学会活動に関する中長期アクションプラン [別紙-7]pp.11-17
- ・ 特別シンポジウム「21世紀、科学技術とどう向き合っていくか」
実行委員会からの今後の活動に関する依頼 [別紙-8]pp.18-22
- ・ 平成19年度事業報告「まえばん」作成依頼 [別紙-9]pp.23-25
- ・ 男女共同参画DS案(2案) [当日配布]
- ・ 企画部員の推移 [当日配布]

【議題】

新任部員の紹介:工藤里絵さんが紹介された。次回理事会で承認を得ることとした。

議事録担当の選出 眞野

前回議事録の確認 [別紙-1]

- ✓ 承認された。

(報告事項)

1. 公益認定等委員会の動き[別添資料-1]

- ✓ 戸塚事務局長より現在の動向を説明。代議員制に関しては、きちんとした手続きを経て公平性が確保されていれば問題ないとのことであった。
- ✓ 公益法人化検討WGの第1回会合を総務部会の直前の5月13日10:00~開催することとした。

2. その他

- ・ 広報委員会関係
- ・ 技術者交流委員会関係
- ・ 男女共同参画学協会連絡会関係[別紙-2]
 - ✓ 本年度幹事学会:日本地球惑星科学連合
 - ✓ 10/7にシンポジウムが京大で開催される。
 - ✓ 地盤工学会大会のDS内容が固まった時点で後援を申請することとした。

(審議事項)

1. 中長期ビジョンによる理事会体制案【別紙-4】

- ✓ 企画部は、中長期ビジョンを推進する立場であり、企画部より挙げる意見は特になし。
- ✓ 支部派遣理事と支部との連携に関する意見は、土田部長より挙げていただくこととした。

2. 60周年記念事業担当部署案(担当部署案、記念事業委員会等)【別紙-5】

- ✓ 以下を修正し、理事会に諮ることとした。
 - ・記念イベント(ポスター) 主担当:企画部、担当:支部、広報委員会
 - ・記念イベント(行事)は、記念大会にあわせて講演などを考える。記念大会&記念式典と併せて考える事とする。
 - ・市民見学会は本部より補助金をつけることを考える。主担当:企画、担当:支部
 - ・記念出版&成果報告会は、一般への報告会は現在考えていないので、担当から事業部を外す。
 - ・記念DVD出版 主担当:調査研究部、担当:事業部
 - ・座談会 担当:会誌部
- ✓ 創立60周年記念事業委員会のメンバーは以下のとおりとして理事会に諮ることとした。
 - ・委員長:総務・企画担当副会長
 - ・副委員長:企画部長(土田 孝)
研究発表会実行委員長
 - ・委員 経理担当理事
企画担当理事
(広報委員会)
(調査研究部)
(会誌部)
(事業部)

3. 委員会自己評価の返送状況について【別紙-6】

- ✓ 返送状況を事務局長より説明
- ✓ 返送されたアンケート結果を企画部長名で各部に確認し、企画部への提出を依頼することとした。

4. 20年度男女共同参画DSについて【当日配布資料】

- ✓ 土田部長と、眞野よりDS案の説明
- ✓ 学会内部の体制の整備と外部への発信の2つがテーマとして考えられる。以下の2つをテーマとして講演をお願いし、今後地盤工学会が取り組んでいくべき内容について討論することとした。
- ✓ 外部への発信:受け入れる側の取り組みとして広島地区で地盤工学技術者女性の活用を行っている企業、自治体等
- ✓ 内部の体制について:先進的な取り組みをしている学会の活動(候補:原子力学会)
- ✓ 地盤工学会の現状として女性会員数、比率、委員会参加数などをまとめて発表(李部員に担当をお願いする)

5. 倫理綱領の改定について

- ✓ 谷部員より説明。
- ✓ 倫理綱領が制定されてから数年が経過したが、改定のきっかけがないので、いきなりの改定は難しい。
- ✓ 会告等やアンケートで改定に関する意見を募ることから始める必要があるとの結論。

6. アクションプランの実施状況と見直し箇所【別紙-7】

- ✓ 現状を眞野より報告
- ✓ 概ねプランに沿って進捗している。
- ✓ 研究委員会の本部、支部の棲み分けは、これまでのところうまくいっていないので、調査研究部で見直しをかけることとなった。
- ✓ 地盤工学技術者の研究情報データベースは、ほとんど進捗していない。構築、維持に要する費用と必要性や効果等の面から見直しが必要。
事実上難しいのではないかと意見があった。

7. 20年度部員について【当日配布資料】

- ✓ 5年近く部員をしていただいた谷部員は交代。
- ✓ 他の部員は継続とする。

8. 次回開催予定

平成20年5月12日(月) 15:00～17:00

以上